

平成30年度「校庭芝生化地域連携事業」実施報告

区市町村名 府中市

学校名 府中市立府中第八小学校

1 事業目的 協議会名 府中市立府中第八小学校芝生推進協議会

本事業に参加することにより、連携を図りながら校庭芝生の維持・管理を推進して芝生のよさを地域に広めるとともに、本校児童を含めた青少年の健全育成や地域のコミュニティの活性化を図る。

2 主な取組と成果

本事業を活用して、学校・PTA・地域が連携を図った芝生維持管理講習会を開催し、校庭芝生の維持・管理等の体制づくりを行った。

・今年度は、市教委からも今後のスクールコミュニティー事業も視野に入れ、多くの協力をいただき、活動が充実した。

・学校・PTA・地域が協力して芝生の理解を深めるとともに、環境保全への意欲を高めた。

・校庭芝生をグリーンキーパーが組織的に運営できるようになり、年間を通した維持活動を継続してできた。

・夏の補植体験を募ったところ、多くの保護者ボランティアが参加し、グリーンリーダーの丁寧な指導のもと、維持・管理の方法について実技指導を通して学ぶことができた。また参加者同士の関係も高めることもできた。

3 具体内容

1. 芝生維持管理講習会

実施日 週2回

対象者 ボランティア・第八小学校児童

内容 機械式芝刈り機・カートの扱いを覚えたり、安全点検を行ったりして、連携して芝刈りをしようという意欲を高めることができた。近年、芝刈りだけではなく、不陸をなくすための砂まきなどに根気よく活動している。

2. 芝生養生活動

実施日 7月21日～8月28日

対象者 ボランティア・グリーンキーパー

内容 今年度は、夏休み期間中を通して、校庭の使用を禁止し、養生した。青々と生き返る様子を目の当たりにし、意欲を高めることができた。

3. 補植活動

実施日 7月

対象者 ボランティア・第八小学校児童・教職員

内容 学校の栽培委員会が、グリーンキーパーとボランティアの方々とともにポット苗を作り、育成を続けた。7月初旬に栽培委員会が育てたポット苗を移植した。中旬には募ったボランティアの方々と教員と子供たちとで、更に補植を行った。



4. 校舎改築にかかわる協議会(スクールコミュニティー協議会)及びワークショップへの参加

実施日 7月10日 11月14日

対象者 第八小学校児童・スクールコミュニティー協議会委員・市教育委員会

内容 来年度、校舎改築にかかわる設計が始まるに当たり、協議会及びワークショップに参加し、校庭の芝生化も視野に入れ、意見等を出し合うことで、児童・地域社会のにとってより良い学校づくりに貢献した。

4 今後について

【課題】

・校庭芝生維持管理体制が、組織として整備されたが、養生の期間を定期的にとることは難しい。そのため約1か月半の養生が必要で、少年野球・少年サッカー等のスポーツ団体には夏の時期、校庭を使用できないということで迷惑をかけた。部分的な養生も、全校児童890名の児童に対しての校庭の面積が狭く不可能に近く、更に部分的な養生は学校の体育活動や休み時間での児童の活動に制限をするため、大きな課題である。

・組織的な維持活動ができるようになったが、ボランティアの方々も固定されてきたため、多くの方々も参加できる工夫が必要である。

【今後の方針】

・昨年度より試みた「芝生の絆創膏(サンサンネット)」は、ライグラスの育成及び擦り切れ防止におおいに役立った。児童の日々の活動や校庭使用時の制約が少なくなるようなネットの張り方を工夫することで、ティフトンの保護を拡大し、来年につなげていきたい。

・定期的に校庭芝生化推進協議会を開き、学校・PTA・地域が連携を図った維持・管理体制について、改善を図りながらより良い組織体制をつくる。

・グリーンキーパーが中心となって企画するイベントを開催し、より地域との連携を深めるとともに、児童の健全育成や地域コミュニティの活性化を図っていく。